Fitness Industry Association NEWS

編集：（株）クラブビジネスジャパン
TEL:03-5459-2841
FAX.03-3770-8744
E-mail.info@fitnessclub.jp
http://www.fitnessclub.jp

Fitness Industry Association of Japan

発行：（一社）日本フィットネス産業協会
TEL.03-5207-6107
FAX.03-5207-6108
E-mail. info@fia.or.jp
http://www.fia.or.jp

Topics　トピックス

FIA 賀詞交歓会　開催

2020年1月17日（金）、弘済会館にて、FIA賀詞交換会が開催された。多くの人々が集い、近況や今後について話を咲かせた。会は、吉田正昭会長（株式会社ルネサンス）の挨拶から始まり、続いて来賓による挨拶、新入会のFIA正会員・賛助会員の紹介が行われた。

吉田会長は東京オリンピック・パラリンピックを前に意欲的に次のように語った。
「今年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。また、昨年のラグビーワールドカップ以降、皆さんもスポーツの盛り上がりを肌で感じていることと思います。我々の仕事はこれから10年、20年と経つなかでさらに必要性が高まっていくはずですから、世のためになるような行動をしていくことが大切です。FIAとしては、フィットネスクラブマネジメント技能検定の導入に続き、今回、施設認証制度という取り組みも始めています。これからも各企業、しっかりと連携して、ますます日本にとって必要とされる仕事をしていきましょう」
続いて3名の来賓による挨拶が行われた。はじめに

吉田正昭会長

厚生労働省人材開発統括官付能力評価担当参事官の釜石英雄氏。同氏は取り組んでいる職業能力開発について「平成28年から令和2年の予定で、第10次職業能力開発基本計画を実行しており、昨年の10月からは今後の人材開発政策の在り方についての研究会も始まりました。新しい基本計画に合わせて見直しを行い、引き続き職業能力の見える化な

釜石英雄氏

どに取り組んでいきます」と現在の動きについて紹介を行った。
次いで、経済産業省商務・サービスグループヘルスケア産業課の課長である西野健氏が登壇。「私の周りにも、パーソナルトレーニングやホットヨガなど、運動をやっている友人がたくさんいます。なかには、『フィギュアスケートを始めたので24時間ジムに通い始めた』という者もおり、本当に運動の幅が広がっていることを感じています。私どもでは健康経営に力を入れていますが、その加盟企業も増えていますし、そのなかで皆さまのサービスはヘルスケア産業の一翼であるとともに、健康経営を進めていくうえでも益々重要なものとなってきています」と語り、フィットネス業界とともに、健康の提供に取り組んでいきたいと語った。
そして、スポーツ庁健康スポーツ課長である安達栄氏は、

ラグビーワールドカップを機に、スポーツへの機運が高まっていることを受け、この勢いを活かそうとフィットネス業界へエールを送った。
「昨年のラグビーワールドカップでは、応援していただきましてありがとうございます。誘致したものの、本当にチケットが売れるか心配でしたが、結果的にはチケット販売率99.3%という勢いでした。今では、子どもたちのラグビー教室など、倍率が高くてなかなか入れないようです。トップスポーツは“見る”“支える”だけでなく、本当に“する”という行動に移るのだと実感しました。今年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されますから、皆さんにおいては、この機会をぜひ活用していただけたらと思います。多くの

西野 健氏

安達 栄氏

方が、スポーツをやりたくなるはずです。特に、あまりスポーツをやってこなかった方がフィットネスクラブに来てくれるように皆さんの工夫で、多くの方をスポーツにかりたてていただけたらと思います」

「FIA加盟企業施設認証制度」について

賀詞交歓会に先立ち、新たに始まる「FIA加盟企業施設認証制度」について、FIAの松村剛より説明が行われた。その内容を紹介する。

この度、FIAでは「FIA加盟企業施設認証制度」をスタートさせます。近年、24時間営業のジムをはじめとする、業態の多様化および施設数の急増が進んでいます。生活者にとっては自分のライフスタイルに合った運動ができる場が増えることとなり、フィットネス産業全体にとっても市場規模が拡大することに繋がることは非常に喜ばしいことです。

一方で、この状態を好機と捉え、業界外からの新規参入が急増し、利用料金の提示の不明瞭さや、サービス提供や施設の不備など、品質にバラつきがクレームとなり、消費者センターにも多くの声が寄せられていると聞きます。

そこでFIAとしては、しっかりと安全・安心を担保した運営を遂行している協会加盟企業の施設の存在感と、そうでない施設の差別化を明確に、広く社会に対して可視化する必要性を強く感じました。この取り組みは、同時に、健康の保持増進を目的とした施設の安心・安全を広く市場に普及させ、最終的には日本の健康を正しく支えることにも寄与することに繋がると確信しています。

各施設さまにはサービス品質や安全基準などに関して改めて確認を行っていただき、この認証制度にご参加いただき、既存ユーザーや地域に対してそのことをしっかりと伝えていただきたいと思っています。これからは、FIAの認証施設を必要とする方々に紹介する仲介者の存在も増えてくると思います。例えば地域の高齢者に良い施設を紹介したいと考える自治体、あるいは従業員への健康ケアの1つとしてフィットネス施設との提携を考える企業、さらには地域のかかりつけ医師などに、FIA加盟認証施設が、積極的に紹介されていくような好循環をつくりたいと思っています。ユーザーが「このクラブなら入りたい」、仲介者が「この施設なら安心して紹介できる」と感じられる環境づくりは、業界団体としての重要な役割であると考えます。

認証を取得された施設には、認定ロゴステッカー並びに認定証を用意させていただきます。施設入り口やフロント周りなど、お客さまの目に触れやすいところに貼り、アピールしていただきたいと思います。また、ホームページやチラシ、名刺等にも安心・安全のロゴマークを掲示してください。FIAでも、積極的にこの制度の周知を社会や行政に図ります。

なお、ロゴステッカーと認定証は有料となりますが、ポスターを無料で提供いたします。こちらもぜひ見えるところに掲示いただき、認証マークが安心・安全の証であることを既存のお客さまにお知らせください。

認証ステッカー

認定証

この制度は、国が定めた「ヘルスケアサービスガイドラインの在り方」にしっかりと準じていることを宣言し、この認証基準の内容の妥当性を承認され、その証として国が発行する公認マークを与えられました。FIAではそのシンボルマークもHPなど積極的に活用して、国の健康行政とこの認証制度の連携もアピールしていきます。

国のヘルスケアガイドライン認定マーク

認証を得るには16項目からなるチェック事項をクリアすることと、関係書類を提出していただくことが必要となります。チェック項目は、“安全性と健全性への対応がなされているか”、“施設の運営企業が信頼できる事業体であるか”、以上2つの視点を重視しています。一部を紹介すると、「安全基準としてAEDを適切な場所に設置し、利用者の緊急時に対処している」や、24時間営業の施設については「監視システム並びに緊急対応のシステムを構築している」、コンプライアンス的な視点からは、「適切な会則をもって遵法的な運営をしている」、「入会、退会、休会などに関する規約を明確に提示し、説明と手続きを実施している」などとなります。または、個人情報管理の徹底や、事故の発生に備えた保険等への加入などがあります。

ポスター

フィットネス業界には総合クラブや24時間営業・無人の施設のほか、スイミングスクール、テニススクール、体操教室などいろいろな業態がありますが、この16項目は“運動サービスを提供する施設”すべてに対する、最低限の確認事項ということで設けました。各項目に沿って、あらためて設備の安全やサービスやシステムの安心を確認していただければと思います。複数の施設を運営されている企業さまには、全施設の確認を一枚の申請用紙にておとりまとめいただき、施設数分を提出していただく必要はありません。

なお、指定管理などで公共の施設の運営を受託されている企業さまもあるかと思いますが、この制度では、FIAに加盟いただいている企業さまを中心とする、基本的に民間の運動施設のみを対象としています。

今後、FIA正会員加盟に際しては、この認証制度の取得が前提となります。すでに加盟いただいている正会員さまにおいては任意となりますが、できるだけ早い段階で申請いただきたいと思います。

また、認証はあくまでも“企業認証”ではなく“施設認証”となります。しかし、ロゴデータの管理や責任の所在の明確化という観点から、申請窓口を加盟企業さまに一元化させていただいております。初回は一元化して申請いただき、その後店舗が増えた際にはその都度、申請いただく流れになりますが、ご指定いただいたご担当者様とできる限りスムースな手法を相談しながら進めさせていただく予定です。

申請に関してご用意いただく資料は4点です。（1）安心安全の確認リスト。これには代表者さまの押印が必要となります。（2）クラブ名と住所が書かれた施設一覧表、（3）お客さまに提示している規約会則の写し。こちらは業態ごとに異なるものをご提示されている場合、全種類ご用意いただくこととなりますが、施設数分ではありません。あくまでもお客様に各社様が提示されている規約・会則となります。（4）認定書、ステッカーの必要枚数を記した申請書。

以上となります。これらをFIAで審査させていただいた上で問題がなければ、施設数分のステッカーなどを用意し、お送りさせていただきます。

費用に関しては、初回の申請費用が5万円（税込み）で、その後追の加施設の申請に際しては申請料はかかりません。認証ステッカーは1枚220円（税込み）となります。認証を得たことを可視化することが大事になりますので、認証ステッカーは1施設につき必ず1枚ご購入いただき、見えるところに貼っていただくようお願いいたします。認定証（A4横サイズ）については任意となりますが、一枚220円（税込み）、額縁とセットの場合は1部1,650円（税込み・各施設への送料込み）となっています。

FIAではこの認証制度をスピード感をもって、広く日本中に浸透させることに取り組んでまいりますので、ぜひ皆さまにはご理解いただけましたら幸いです。

＜「FIA加盟企業施設認証制度」申請書ダウンロード＞
https://www.fia.or.jp/public/19357

Board Meeting 理事会報告

FIAは2020年1月17日（金）第200回となる理事会を開催し、理事監事17名が出席した。

議事1 審議・決裁事項

（1）理事交代の了承

理事交代申し出に伴い、本年6月総会時、以下による選任議案を提出すること並びにそれまでの間、山崎氏を陪席出席とすることにつき審議の結果了承した。

退任 吉田康志氏 （株）エイム 代表取締役会長（元）
選任 山崎充浩氏 （株）エイム 代表取締役社長

（2）会員入退会の件

事務局より以下の入退会申請があることが説明され審議の結果、いずれも異議なく承認された。

1．入会

＜正会員＞

会 社 名：オレンジセオリー・ジャパン株式会社
クラブ名：オレンジセオリーフィットネス
所 在 地：東京都千代田区
資 本 金：9,950万円
営業内容：フィットネスクラブの運営、フィットネス関連事業
店舗数 3

＜賛助会員＞

会 社 名：株式会社ムジント
所 在 地：東京都世田谷区
資 本 金： 300万円
営業内容：フィットネス業界求人サイト「fitness salon」運営
インストラクターの代行募集アプリ「多助」運営

会 社 名：株式会社Tanoshimu
所 在 地：神奈川県相模原市
資 本 金： 500万円
営業内容：パワーリフティング・ウェイトトレーニング用品の
輸入・販売
パワーベルト・ニースリーブ・エルボースリーブ等

2．退 会

＜賛助会員＞

会 社 名：サンケイアクア株式会社
所 在 地：大阪市中央区
入 会：平成23年1月
商 材：プールろ過凝集剤・消毒補助剤等

会 社 名：株式会社MTG
所 在 地：東京都中央区
入 会：平成26年3月
商 材：美容機器・フィットネス機器の企画開発

（2）後援名義使用許可申請の件

事務局より以下の後援名義申請があることが説明され、審議の結果、承認された。

1．日本ダンス技能向上委員会

主 催：日本ダンス技能向上委員会
運 営：同上・ミズノ（株）
催事名：日本ダンス大会
期 間：令和2年6月13日（土）・14日（日）
会 場：カルッツかわさき
内 容：ダンス、及びチアダンスの全国規模のダンスコンテスト及びセミナーの同時開催。ダンス及びチアダンスの社会的地位向上とダンス技術の向上、普及推進

も目的とする。出場資格:高等学校公認部活チーム。
※毎年開催の大会／セミナーであり、例年後援。

2. ダイエット＆ビューティーフェア2020・スパ＆ウェルネスジャパン2020

主　催:株式会社UBMメディア
運　営:同上
催事名:ダイエット＆ビューティーフェア2020
　　スパ＆ウェルネスジャパン2020
期　間:2020年9月15日(火)～17日(木)
会　場:東京ビッグサイト
内　容:毎年開催のヘルス＆ビューティー分野の総合展。
※ヘルスケア産業課後援行事。(2007年～)
2009年　FIA後援開始。
FIAは同催事の核となる「エステティック」「スパ」両業界団体(6団体)並びにヘルスケア産業課と、「美・癒・健3分野情報交換会」に参加。2019は美容・リラクセーション業界及び経産省と4者でのパネルディスカッションに参加。

議事2　報告・討議・承認事項

=検定事業委員会=

委員長より以下事項について説明すると共に、必要事項は協議を行った。

1. 第6回(11月17日)試験実施報告

(1)級別受検者数＞

級	申請数	受検数
1級	81	75
2級	352	330
3級	1,725	1,570
合計	2,158	1,989

＊1級学科試験の結果は合格者数16名、合格率20%。
＊3級は学生が1,309人中欠席率9.5%。社会人416人中欠席率7.2%。

(2)試験運営状況

①当日は全国的に好天で、計画通り試験を実施できた。
②各社ご協力の技能検定委員、委託先会場責任者、FIA本部が連携し試験を運営した。
また、新規技能検定委員(当日運営担当)は理事企業6、理事以外企業7社(株)ライブスポーツ、(株)アピアスポーツクラブ、住友不動産エスフォルタ(株)、(株)豊和(パルスイミング)、(株)ヒカリ(レフコ)、(株)フジ・スポーツ＆フィットネス(フィッタ)、㈱セイカスポーツセンター)からご協力いただいた。
③今回試験では「試験問題誤り」「解答誤り」は発生していない。(試験当日及びホームページ問題・回答開示後)
④現在採点作業中。2・3級実技の記述採点は技能検定委員が担当しているが、受検者数の増加に伴い記述式採点の負担も増大見込み。

(3)今後のスケジュール

・12月18日　技能検定委員(執行担当)会にて第6回試験合否判定。
・12月23日　上記合否判定結果を厚生労働省報告様式にて提出。
・12月24日　1級学科試験結果を公表。1級学科合格者数は16名、合格率20%。
・12月25日～1月9日　第7回技能検定試験(1級実技試験)の申請受付。
・2月2日の実技試験には過去の1級学科合格者含め名受検申請受理。
・1月25日　第6回技能検定試験2級及び3級技能士合否発表
　＊2月中には合格証書発送。
・2月　2日　第7回技能検定試験実施
・2月13日　技能検定委員(執行担当)会にて第7回試験合否判定を行う。
・2月18日　上記合否判定結果を厚生労働省報告様式にて提出する。
・3月19日　第7回技能検定試験1級技能士合否発表
　＊3月中には合格証書発送。

2. テキスト・試験問題解説集販売実績 (2019年12月末現在)

級	販売数	改訂版・見込数
テキスト	1,945冊	800冊
過去問	1,050冊	600冊
総計	2,961冊	1,400冊

＊見込数は改訂版の販売見込（主に授業の教科書として学校が購入する分）

3. 公式テキスト改訂版について

(1)改定版発行(印刷)部数について協議し、了承した。

発行部数は、2020年2月から2022年1月までの2年間分を想定。

公式テキスト(初版)販売・在庫状況

	ベーシック	インターミディエイト	アドバンス	合計(冊数)
印刷数	4,500	2,100	1,300	7,900
販売数	4,370	1,873	1,121	7,335
献本等	46	4	1	53
在庫数	84	223	178	512
受検申請者数累計	2,827	979	273	4,079
テキスト/受検申請	1.6倍	1.9倍	4.1倍	1.8倍
改定版印刷数	6,000冊	3,000冊	2,000冊	

＊初版の在庫については、上級、中級、基礎の３冊セットで大学の図書館へ寄贈する。

＜今後のスケジュール＞
・2月3日発行・販売開始

(2) 過去問集第２版と合わせた今年度内の販売について

①FIA加盟正会員企業及び賛助会員企業への購入促進のため案内送付。
②学校、一般企業（FIA未加盟）、行政に向けたチラシ作成、送付案内。

＊今年度中は購入実績のある先向け、来年度4月に試験日程と合わせて広く案内する。

4. FCM検定受検者及び合格者に関する企業採用、内定状況調査の件

集計結果を報告し、その活用について了承した。
目的：専門学校、短大、大学等のFCM検定受検・合格者の、理事企業応募・内定・採用状況を調査し、学校等へのFCM受検啓蒙説明材料とする。

調査方法：採用担当者へアンケートを送付し回収の上、必要に応じてインタビューを行う。（今回は理事企業を対象とする）
開示方法：①集計結果は説明資料として開示。
②インタビュー等個別情報は、開示方法を相談、承認の上使用予定。
アンケート：下記のとおり
スケジュール：12月10日調査依頼発信
12月25日アンケート回収
2月上旬より各学校への訪問、啓蒙実施時に 調査結果を活用。

F CM検定受検者及び合格者に関する理事企業採用、内定状況アンケート調査結果

集計済13社

①従業員の募集にあたり、エントリーシート等にFCM検定の資格について記載欄を設定していますか。
ア　設置している　（5社）　　イ　設置していない　（8社）

②従業員採用にあたり、FCM検定の資格取得について、どの程度参考にしていますか。
ア 必須にしている（0社） イ 重視している（3社） ウ 加点要素にしている（3社） エ 特に参考にしていない（6社）
オ　その他（1社：参考にしている　）

③2020年新卒者採用にあたり、以下の表に該当する数値を記入願います。

採用応募者数	8,981人	内FCM検定受検者数	25人	不明
		内FCM検定有資格者数	5人	不明
採用内定者数	389人	内FCM検定受検者数	7人	不明
		内FCM検定有資格者数	2人	不明

FCM受検・資格取得把握企業7社の合計数値

④2021年度採用活動にあたり、FCM検定をより積極的に活用していただけますか。
ア　取り組む（9社）　イ　取り組む予定無し（1社）
ロ　どちらともいえない（3社）

⑤FCM検定に関してご意見、ご感想等を自由にご記入願います。

- 新卒採用時のFCM検定活用は今後検討します。
- 指定管理施設の必要資格要件になるとより周知拡大につながる。
- 学生の受検者増加が当業界への就職希望増加につながることを期待しています。
- 専門学校との連携や社員昇格基準への取入れを行い、活用基準が明確になった。
- 高校でも体育コース設定が進んでいるので、資格取得を促進してはどうか。
- 本年度の採用活動より、より積極的にFCM検定を活用する方向です。
- 本年度の採用活動より、FCM資格取得を採用の参考に加えたい。

5. JATIとの共同企画の件

取り組み案について説明し、実施について了承した
内容：2019年度と同様にJATI（日本トレーニング指導者協会）と合同企画として、FCM＋ATI（JATI認定トレーニング指導者資格）のダブルライセンス取得を促進するポスターを作製し、企業、学校へ送付する。ポスターにFIA正会員企業もしくはブランドのロゴマークを掲載。希望制が、できるだけ多くの企業の参画を促したい。

6. 技能検定委員の補充について

下記依頼を行うことにつき協議し、了承した。
2020年度初めに、追加の技能検定委員選出を各理事企業にお願いしたい。
＜理由＞
- 受検者数増加に伴い、当日の試験運営に必要な技能検定委員が不足する。
- 2020年度末にて、既存の技能検定員の大半が2期目を終了し、交代希望等もあるが、試験問題作成、採点及び1級実技面接官等技能検定委員として、高度な技能と経験を要するため、1年間は補助的に経験する期間が必要と思われる。

2020年度初めに補充必要な人数（　　）内は兼務者人数

担　当	既存人数	不足人数	来年度更新人数	補充必要人数
執行、統括	9人（2人）	0人	9人	2人
作問、採点	12人（1人）	4人	11人（1人）	5人
面接	21人（6人）	3人	19人（6人）	4人
運営	20人（2人）	8人	10人（2人）	8人
合計	62人（11人）	15人	49人（9人）	19人

＜今後のスケジュール＞
2月中旬　補充についての依頼文書を配信（更新対象者の更新と補充候補選出）
3月中旬　候補者の選出受
4月中　厚生労働省へ技能検定委員追加の報告

=社会・渉外委員会=

委員長及び事務局より以下事項を説明すると共に、必要事項は、協議を行った。

（1）「施設認証」準備状況と広報開始の件

①12月23日、経産省ホームページの「ヘルスケアサービスガイドライン等のあり方」を踏まえた業界自主ガイドラインリストに掲載された。

団体名（50音順）	業界自主ガイドライン・認証制度名	連絡先（Tel）
（特非）日本エステティック機構	エステティックサロン認証基準	03-3230-8002
（一社）日本ホームヘルス機器協会	体調改善機器認定要領	03-5805-6131
（一社）日本フィットネス産業協会	FIA加盟企業施設認証制度	03-5207-6107

②加盟企業受付と認定手順

以下により実務を開始することにつき了承した。
1月20日受付開始

●申し込み＝
- 施設認定基準確認書
- 規約会則

・施設一覧（エクセル）
・申請送付書（FIA作成様式）　を事務局あて送付

●認定審査＝
・基準確認書確認・規約会則内容確認（事務局）
・認定判定会議付議　既存会員＝執行理事会議
新規加盟＝理事会
初回＝2月7日（執行理事会議）

●認定決定＝
・費用請求書
・ステッカー、認定証送付（本部宛）
・FIAホームページ認定施設掲載
・認定ロゴ（データ）送付

③会員向け・社会向けリリーススケジュール
プレスリリースの手順
1月17日（金）の会員向け説明会をもって、ステイクホルダー向けの事前説明完了とし、広く業界全体、一般マスに対してのプレスリリースを実施する。
(1)プレスリリース先の開拓　＜主な対象先＞
①FIA関係企業の有する媒体とのパイプからの紹介（現時点）
＜一般＞
②PR TIMESへのリリースの投稿
③FIAの新聞媒体リストへの直接アプローチ
・朝日新聞社　・産経新聞社
＜一般・業界内＞
FIAホームページに広報ページ作成。1月末予定
月間レジャー産業資料（綜合ユニコム）3月号（2/25日発売）掲載
Fitness on line　広報バナー掲載（予定）
Fitness　Business誌　掲載（3・4月号）（予定）

④消費者庁リリースとの連動
消費者庁は準備中の消費者向け注意喚起リリース(高齢者のトレーニングに際しての注意）案文で、「正しく説明・指導が受けられる施設を選ぶこと」に触れていることから「施設基準認証」に着目、ロゴマーク掲載原稿を用意し、主要各社が認定施設として掲載（公表）され次第、一般向けに公表。2月中旬には実行したいとの希望
⑤経産省補助「令和元年度健康寿命延伸産業創出推進事業の採択に伴う事務手続き。
・8月22日～2月末日までのかかった経費の1/2、約190万を限度に申請予定。これに伴う「ガイドライン規定」制定の必要があり、作成。ガイドライン規定案審議において、認定施設必掲のステッカーについては、複数の出入り口を有する場合に鑑み、クラブが必要枚数をリクエストできることと決定した。

（2）IHRSA Passport Program　の検討について
TrainAway（トレインアウェイ）社の代表（Kenn Gudbergsen氏）からの依頼・提案。

「弊社は世界中のフィットネスクラブと旅行者をつなげるサービスを提供しています。オリジナルアプリとウェブサイトを通してIHRSA Passport Programを利用者に提供
しています。ツーリストが多いフィトネスクラブや海外からの利用者の増加が見込まれる2020年のオリンピック前後にTrain Awayのシステムが FIA加盟企業にとってとても活用できるのではないかと思います。」
1月下旬KENN氏来日の折事務局が面談。クラブ側の具体的準備・義務・メリットに
ついて聞いたうえで、執行理事会議・3月理事会に打診予定。
※懸案事項としては、各社の一元利用の外国人のタトゥーに対する対応。

（3）日本AED財団連携のアンケート実施の件
FIA駅伝（東京大会）の機に知己を得た（公社）日本AED財団との協議を実施。無人24時間業態も増加している今日におけるフィットネス施設でのAEDの正しい普及を図る啓発活動を模索することとした。
その一弾として、クラブでのAEDの設置・教育訓練・使用の実情などについてアンケートを行い、会員での情報共有を行いたい。
施設認証の1項目にAED設置を掲げており、その実情把握と課題の確認・改善提案等、AED専門集団との協同につなげたい。
以上の趣旨及びアンケート案を事務局より説明し協議の結果、今次調査では対象を総合型クラブとすることとしたうえで実施することを了承した。

=事業委員会=
委員長及び事務局より以下事項を説明すると共に、必要事項は、協議を行った。

（1）SPORTEC WEST ［11月20日（水）～22日（金）］
今回よりセミナー・レセプションパーティーをFIA との共催スタンスで実施。 提供セミナーの状況は以下の通り。

①これからのフィットネス企業各社の発展を支える“人の育成”のありかたと人事制度を考える　（参加人数：43名）
（パネリスト）
・吉田　智宣氏 （株)ルネサンス
取締役常務執行役員コーポレート本部長
・的場勝己氏 (株)LAVA International 人材開発部長
・相原 雄介氏 スポーツクラブNAS(株) 人事部部長
（進行） 松村　剛 （一社）日本フィットネス産業協会

② （FIA調査研究事業報告）顧客の業態転換におけるインサイトを探る～顧客が別の業態にエクササイズの場所を移したその真意に耳を傾ける～　（参加人数:34名）
（パネリスト）
・松岡　宏高氏　早稲田大学スポーツ科学学術院　教授
・北澤　順子氏　Dia-Log Japan　代表取締役
・足立　名津美氏 京都先端科学大学　健康医療学部
健康スポーツ学科 専任講師
（モデレーター）・古屋　武範氏　（株）クラブビジネスジャパン
代表取締役社長

③ FIA加盟企業施設認証制度スタートアップ記念シンポジウムこれからのフィットネスビジネスの可能性とあるべき姿を考える　（参加人数：61名）
（パネリスト）
・吉田　正昭氏　FIA会長／（株）ルネサンス
代表取締役執行役員社長
・笠原　盛泰氏　FIA副会長／アイレクススポーツライフ（株）
代表取締役社長
・手塚　栄司氏　FIA理事／（株）THINKフィットネス 代表取締役社長
（進行）（一社）日本フィットネス産業協会　松村　剛

④「これからのフィットネス業界に求められる人材の技能とFCM検定について」～学校としての取り組みと企業としての取り組みの事例を中心に考える～ （参加人数：23名）
（パネリスト）
・高岡　昌弘氏　（学）三幸学園　東京リゾート＆スポーツ校
統括部門長

・森山 亮平氏 (株)オージースポーツ 総務部
総務人事チーム マネジャー
・笹木文雄氏 (株)エイム 人事課長
(進行)韮沢靖彦 (一社)日本フィットネス産業協会

⑤FIA グローバルフィットネスマーケットレポート IHRSA2019及びFIBO2019から見る最新フィットネストレンド
(参加人数:29名)
(一社)日本フィットネス産業協会 松村 剛

⑥SPORTEC WEST & FIAレセプションパーティー
(参加者人数:105名)
【振り返り】
今回からSPORTEC WESTにFIA関西クラブマネジメントセミナーを組み込む形をとり、以下の5点を見込んだ。
1. セミナー集客力の向上(訴求力の大幅なアップ)
2. 展示会視察を兼ねたセミナー参加という、参加者メリットの提供
3. 募集～集金作業のSPORTEC移管による事務の軽減
4. セミナー開催の経済的リスクの回避。(収支が採れない場合、SPORTEC全体で吸収)
5. SPORTECというスポーツ・フィットネスに関連する広い市場に対してFIAの存在を露出することによる認知とブランド力の促進

【課題】
上記、2,3,4,5は一定の成果、あるいは今後これらの求める成果の質を高める足掛かりを得た。一方、セミナー集客では想定数に達せず、次年度への課題とし、SPORTEC事務局と連携した協議が必要。特に訴求開始のタイミングが遅かった点が挙げられる。

(2)FIAマスターズスイミング
2020年春 (千葉) 3月7日 (土) 8日 (日) 予定
エントリー募集期間:12月2日～1月23日
※実行委員会より要望:競技時間中は役員 (理事) が会場に居て頂きたい。
※来年度の大会日程
秋:2020年9月27日 (日) 京都アクアリーナ決定。
春:2021年3月6日 (土) 7日 (日)
千葉県国際総合水泳場 決定。

(3)FIA全国スポーツクラブ駅伝
①東京大会:夢の島陸上競技場:11月16日 (土) 開催報告
参加者数:3,021名 421チーム

②大阪大会:万博記念公園競技場:2020年2月11日(火・祝)
募集状況報告。1月5日 (日) に募集が締め切られた。
現状応募者数 (1月14日現在)
約1,771人 (前年:1,378人対前年比:128%)
1月24日 (金) 、大会実行委員会を予定、現地視察と打ち合わせを実施予定。

=調査研究委員会=
委員長及び事務局より以下事項を説明すると共に、必要事項は、協議を行った。

現在取組中の調査研究テーマ
「顧客が感じている価値は何か?～入会者・経験者のブランドスイッチ～」

(1)セミナーの実施
●11月21日 (木) ※詳細は事業委員会報告のSPORTEC WESTを参照。

(2)調査研究報告冊子化に向けた取り組みの進捗
本調査において、特に総合業態経営視点から欲しい総合業態から24時間ジムor ブティックタイプへのスイッチに於ける定性・定量のデータ素材が圧倒的に不足していることが挙げられており、その補填のためにマクロミルを使うことで、このグループのアンケート調査におけるデータ素材の充実を図ることとしており、現在早稲田大学とマクロミル社とFIAの3者において具体的な進め方とコストについて協議中。

=組織基盤拡充委員会=
委員長及び事務局より以下事項を説明すると共に、必要事項は、協議を行った。

(1)会員増強に向けた取り組み
・11月25日(月)全委員参加による組織基盤拡充委員会を実施し、以下の取り組みについて確認した。
[既存会員制度・会費システムの見直し(案)]
■ゴール(目標) =会員の増強・業界における組織率向上
→ 業界におけるFIAの地歩向上が増収増に繋がる
■方法
① 既存会員制度を検証
② 会費システムを検証
■検証のポイント
既存会員制度の検証 … 入会会資格に関する現状確認と今後の検証
会費システムの検証
現在 = クラブ数従量制 + 上限額設定
↓
検討における留意点 >会費変更後に退会企業が増えない負担額・制度であること
>現会員にデメリットが増えない設計であること
>会費が上がる企業でも納得のいく理由、新メリット付加があること

[会員の帰属価値を高めるための改善(案)]
■会員への提供メリットの見直し
・きちんと会員にメリットを伝え、能動的にそれらを享受できることを目指した改善(新たなメリットの創出 / 既存メリットの見せ方 / メリットの届け方)

●既存会員へのアンケートの実施
●主にWEBサイトの見直し

(2)北陸フィットネスクラブ協会との共催セミナー
・日 程:2020年3月4日
・主 催:北陸フィットネスクラブ協会
・共 催:(一社)日本フィットネス産業協会
・特別協賛:大塚製薬(株)
・内 容:「24時間型ジム等について対策勉強会」
・進 行:
「最新フィットネス事情とその後」/松村 剛氏 (FIA)

「プレーヤーから見た総合型・24時間型のメリット・デメリット」
小宮 克巳氏(株式会社ティップネス取締役執行役員)

ミニ・ワークショップ
進行:西根 英一氏(株式会社ヘルスケア・ビジネスナレッジ代表取締役)

Information お知らせ

1．ＦＩＡマスターズスイミング選手権大会２０２０

FIAマスターズスイミング選手権大会2020
開催日：3月7日（土）8日（火）
会　場：千葉県国際総合水泳場
参　加：473チーム　1,958名
募集へのご協力ありがとうございました。
また、当日の運営・引率にあたるスタッフの
皆様よろしくお願い申し上げます。

2．ＦＩＡ加盟施設認証申請受付開始（Topics参照）

解説・要項・規定・申請書式はFIAホームページお知らせ欄からダウンロードできます。
制度のホームページは3月より開設されます。
（https://ninshou.fia.or.jp）

3．ＦＩＡ正会員企業基本調査＆JASRAC利用状況届出書ご提出のお願い

年1回の正会員基本調査を行っています。FIA年会費額・JASRAC音楽使用料を算出するための基礎資料となるデータをお手元からWeb入力していただきます。
操作マニュアルは窓口ご担当者様へお届けしていますが、不明の際は事務局までお問い合わせください。2月28日までの完了をお願いします。

4．新型コロナウイルス肺炎について

クラブ現場でも対応に追われていることと思います。
【国の広報】
施設利用者等への呼びかけ広報として、咳エチケット・手洗いなど3種のポスター利用を呼び掛けています。
（https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html）

＜掲　示＞

FIAは駅伝・マスターズ大会に際し下記の掲示を行います。

ご参加の皆様へお願い

健康・衛生の確保について

新型コロナウィルス肺炎の感染が懸念されています。

1．体調の管理をご自身で厳重に行っていただき、発熱・咳があるなどの場合、無理な参加はお控えください。

※うがい・手洗いの励行
※咳エチケットの心掛け
などにご協力ください。

2．衛生のため、スタッフがマスクを着用する場合があります。

ご理解をお願いします。

一般社団法人日本フィットネス産業協会

Member's Board 会員掲示板

ハクヨグループが「オレンジセオリー・ジャパン株式会社」の株式を100%取得

スポーツクラブ事業を展開するアイレクススポーツライフ株式会社を傘下に持つ、ハクヨグループの株式会社ハクヨコーポレーション（本社：愛知県豊川市千歳通4-18　代表取締役　笠原盛泰）は、この度、オレンジセオリー・ジャパン株式会社（本社：東京都千代田区九段南2-2-1エース九段ビル9F）の株式を100%取得いたしました。

ハクヨグループは、同社のグループ化により、「オレンジセオリーフィットネス事業」の安定成長を後押しするとともに、アイレクスブランドのフィットネス事業との連携・強化を図り、その相乗効果により、事業シナジーを創出します。

オレンジセオリー・ジャパン株式会社の運営する「オレンジセオリーフィットネス事業」は、世界展開するフィットネスフランチャイズブランドで、同社が日本市場におけるマスターフランチャイジーとしての権利を取得し、2016年より日本で展開しています。首都圏を中心にすでに8店舗を開業しており、2020年は11店の出店を予定しています。今春4月には、名古屋市八事にフィットネス複合施設として、1Fにオレンジセオリーフィットネス、2Fにヨガ＆ジム アイレクス・ライトを出店します。競合が懸念されるフィットネス施設を同一ビルで同一企業が業態を変えて展開するのは、全国的にも稀な試みとなり、業界の注目を集めています。

ハクヨグループでは、オレンジセオリーとアイレクスの融合により、事業領域のさらなる拡大を図り、多様なライフスタイルの生活者ニーズに対し、より質の高いサービスを提供するとともに、今後のグループの成長戦略をより加速してまいります。ハクヨグループは、全国におけるフィットネス業界市場の成長に貢献することを目指します。

HAKUYO

◆上記に関するお問い合わせ等は、お気軽に下記までご連絡ください。

株式会社ハクヨコーポレーション　荒井・堀尾
Tel 0533-83-0894 fax 0533-83-0895
secretary@hakuyo-corp.co.jp

フィットネスクラブ・マネジメント技能検定について

フィットネスクラブマネジメントニュース！

第6回フィットネスクラブ・マネジメント技能検定試験（1級学科試験、2級学科・実技試験、3級学科・実技試験）の合格発表が2020年1月24日に行われ、以下の結果になりました。

1級学科合格率は約20%、2級学科・実技試験の合格率は約45%、3級学科・実技試験の合格率は約50%でした。その試験範囲に準拠し、さらに業界の変化に対応した内容を業界の各分野を代表する執筆者が書き起こした「フィットネスクラブ・マネジメント公式テキストVOL.2」が、2020年2月3日に刊行・発売されました。

今回このコーナーでは、その一部を紹介します。

アドバンス（上級）

インターミディエイト（中級）

ベーシック（基礎）

全てのテキストの巻頭に**最新の統計資料と共に、これからのフィットネス事業者に求められる視点が記載されています。**

1　2018年の総括
2　2018年のフィットネス業界に見られた特徴的な動き
3　同　顧客層の特徴的な動き
4　2019年以降、フィットネス事業者に求められる視点

業界の動向を示す基礎的な各種データの記載

表1　市場規模の推移　表2　施設数の推移　表3　新規開業者数の推移　表4　閉鎖撤退数の推移
表5　会員数・延べ利用者数の推移　表6　会員一人当たり年間消費額　表7　2018年の主な業界ニュース
表8　主要プレーヤーの業績

さらに、各執筆者からの読者に対するメッセージをコラムとして掲載しています。一部を抜粋して紹介します。

目指せ！スポーツとフィットネスの融合と題して、フィットネスビジネス編集長　古屋武範氏より

「健康づくりのためにフィットネスをするというのも悪くないでしょうが、スポーツを楽しむためにフィットネスする、あるいはスポーツすること自体をフィットネスに代替えするするほうが、健全な気がするのは私だけでしょうか。なぜなら、そのほうがモチベーション高く取り組めそうな気がするからです。（省略）

今、全国各地でスタジアム・アリーナの新設や改修の計画が進行していますが、こうした施設の運営の持続性を担保するためにも、スポーツというコンテンツをどう日常的な健康づくりに活かすかをよく知っているフィットネス業界のプレーヤーが協力していくことは必要かと思います。」

ブルーオーシャンはどこにあるのと題して、（株）ヘルスケア・ビジネスナレッジ　代表取締役社長　事業構想大学院特任教授　西根英一氏より

「とても大切に育ててきた魚がいるとします。そろそろ海に帰してあげたい。そう思う時、僕らは海を探しにゆきます。放った瞬間、先にいた魚たちに食われてしまうような海とか、釣り人がすぐに釣り上げてしまうそうな海には決して放しません。大切に育てた魚が「商品」、放たれる海が「市場」です。しかし、ビジネスを考えると育てた「魚」のことは気にかけても、放つ「海」のことは大して気にかけない人たちがとても多いことに気づきます。」

科学的手法を取り入れ、より効果的・効率的に！と題して、NPO日本トレーニング指導者協会　理事　菅野昌明氏より

「近年トレーニングの手法も科学的アプローチによって、従来の理論とは相反する、多数の知見が解明されてきています。例えば、金肥大にはセット間の休息時間を1分間設定する手法が広く認知されています。しかし、それを1分間と2.5分間とで比較した研究では2.5分間のほうが、筋肥大効果が高いことが明らかになっています。」

ここでは紹介できませんでしたが、（株）テイップネス　取締役執行役員　小宮克巳氏による**「今こそイノベーションの好機！」「お客様はだれか？」「自分の子供たちが目指す業界へ！」**と題して熱いメッセージを記載しています。

フィットネスクラブ・マネジメント技能検定は資格のための試験ではなく、人材強化を推進するための仕組みです。

New Clubs 出店情報

2月のオープンクラブ

セントラルスポーツ ジム24 実籾 ●FIA会員
所在地：千葉県習志野市実籾4-1-5 corum 2F

ルネサンス 元氣ジム大和 ●FIA会員
所在地：神奈川県大和市深見台1-9-6

ホリデイスポーツクラブ青森
所在地：青森県青森市石江江渡151-5
ホリデイスポーツクラブ鹿児島鴨池
所在地： 鹿児島県鹿児島市鴨池2-26-30

JOYFIT24会津アピオ
所在地：福島県会津若松市インター西108

スポーツクラブアクトスWill_G ヨークタウン上山
所在地：山形県上山市仙石字元糸目793
ヨークタウン上山内
スポーツクラブアクトスWill_G ドン・キホーテ大田原
所在地：栃木県大田原市加治屋83-27
ドン・キホーテ大田原内

zen place pilates名古屋スタジオ
所在地：愛知県名古屋市中村区名駅4-26-10
名駅ファーストビル 6B

FITNESS24 北見幸町
所在地：北海道北見市幸町4-1-31セブンイレブン 2F

エニタイムフィットネス石巻あけぼの店
所在地：宮城県石巻市あけぼの1丁目6番7，6番9（地番）2F
エニタイムフィットネス大山店
所在地：東京都板橋区大山東町58-2 2-3F
エニタイムフィットネス西八王子店
所在地：東京都八王子市元本郷町3-6-10 2F
エニタイムフィットネス岡崎矢作店
所在地：愛知県岡崎市東大友町字西浦42-3 1F
エニタイムフィットネス西田辺店
所在地：大阪府大阪市阿倍野区西田辺町1-21-37
エスパシオ西田辺 1F

Issue 記事

セルフジム「FIT365」300店体制へ、帯広のオカモトHD

オカモトホールディングス（HD、北海道帯広市）は低価格の会員制ジム「FIT365」の店舗数を2025年3月期をメドに現在の約8倍となる300店に拡大する。月額2,980円（税別）で複数人が利用できる価格と使いやすさを前面に、20年度以降は年間30～50店程度と急ピッチで出店。新規の顧客層を開拓する。

FIT365は「トレーニングマシン特化型」と呼ばれるフィットネスジム業態で、広さ約700～1700平方メートルの規模を目安に店舗を出店してきた。原則として24時間・年中無休で営業し、利用客は有酸素運動によるランニングマシンや筋肉を鍛えるトレーニング機器を好きな時間で自由に使えるのが特徴だ。

（20201.7 日本経済）

RIZAP――再建へ原点回帰で成長描く（記者の目）

子会社の売却や事業の撤退など経営再編を続けてきたRIZAPグループが、売り上げを伸ばすべく動き出した。雑貨やアパレル、出版と、幅広い分野の子会社を傘下に抱える同社が軸にするのはインターネット通販とプライベートブランド（PB）商品だ。14年前にオリジナルの「豆乳クッキーダイエット」が楽天市場で人気を集め急成長した「祖業」ともいえる。

19年4～9月は成長が続いていた主力のフィットネス関連も売上高がほぼ前年同期並みにとどまっている。グループ全体の成長には売り上げの8割を稼ぐ、他の買収事業の再成長が欠かせない。

（2020.1.9 日経産業）

地方店とネット販売融合、青山商事、複合店化も拡大

青山商事が郊外や地方の路面店のてこ入れを急ぐ。店舗での試着とインターネットでの注文を融合した新業態の出店を増やし、スーツ売り場の面積を減らす。空いたスペースは他の商材に充てるほか、スポーツジムや飲食店を併設した複合店を展開する。仕事場での服装がカジュアル化し、若者層を中心にスーツ離れが加速。デジタル化でスーツ売り場を改革し、複合店化を進めることと合わせ既存の地方店の収益力を高める。

（2020.1.15 日経産業）

スポーティップ、体格に合った運動、AIで提案

「健康を維持するためフィットネスクラブに通ってトレーナーの指導のもとで効果的な運動をしたいが、相性のよいトレーナーと会えるか心配」。そんな悩みを解決しようと、人工知能（AI）を使って個人の体格に沿った最適な運動の提案を目指す企業がある。人間工学で日本をリードする筑波大発のスタートアップ、スポーティップだ。

同社はスポーツを力学的な面から分析し、優れた動きや筋肉の特徴を研究する藤井範久教授ら筑波大との共同研究体制を強みとしている。高度なデータ解析装置を使い「個人のデータに合わせてケガをしやすいメニューを避け、長所を重点的に伸ばすようなメニューを提示するAIを開発した」（高久侑也社長）という。

人の動きをカメラで撮影してクラウド上で解析する仕組みで、利用者はセンサーや電極などの部品を体につける必要がない。昨年12月には東急不動産グループの東急スポーツオアシスの店舗に試験導入されており、まずフィットネス大手への提供を目指す。高久社長は「フィットネスクラブは、入会希望者にAI指導を体験してもらうことで競合他社との違いをアピールできる」と話している。

（2020.1.15 日経MJ）

熊本県合志市・ルネサンス・日本ユニシスなど、「フィットネス＆コミュニティ コレカラダ」などを2月1日にオープン

熊本県合志市（以下、合志市）、国立大学法人熊本大学（以下、熊本大学）、株式会社ルネサンス（以下、ルネサンス）と日本ユニシス株式会社（以下、日本ユニシス）、Kuru-Lab株式会社（以下、Kuru-Lab）は、合志市が掲げる「健幸都市こうし」の実現に向け、地域住民の健康増進および地域発展を目的とした事業連携合意に基づき、地域住民の健康増進を図るコミュニティの場所として「フィットネス＆コミュニティ コレカラダ」を、そして健康データの取得・研究活動の拠点として「コレカラボ」を2020年2月1日に熊本県合志市の「旧西合志町庁舎」である「ルーロ合志」内に開設する。

（2020.1.17 日本経済）

野村不、商業施設の新ブランド 美容などサービス業集積

野村不動産はサービス業をテナントの主体とする商業施設の新ブランド「MEFULL（ミーフル）」を立ち上げる。3月に美容関連を集めた施設を大阪市内に開業する。首都圏や京阪神など年間5棟のペースで開業する。

第1弾は梅田駅の近くに地上8階建てで延べ床面積が約1,600平方メートルのビルを建てる。20～40代女性の利用を想定したフィットネスクラブや美容室、美容整形などのテナントを集めた。8月にさいたま市、2021年には東京都世田谷区や神奈川県藤沢市で開業する。今後は札幌や仙台、福岡などに広げる。いずれもターミナル駅などの近くに施設を構える計画だ。

（2020.1.17 日本経済）

三菱地所、子会社 GYYMが個別入会せずに様々なフィットネス施設に通えるWEBサービス“GYYM（ジーム）”を始動

「GYYM」は、日々忙しく過ごす大人が、手軽で自由に運動に取り組める環境の提供を目的として事業化された。昨今、様々な形態のジム・スタジオが営業を行っているが、個別に契約を行う場合、ジム・スタジオ毎に月会費や入会金等の費用が発生してしまい、気軽な利用が難しい状況にある。「GYYM」では、ワンストップでフィットネス施設の検索・予約・決済までをカバーすることで、複数のジム・スタジオを利用する際の心理的・金銭的な障壁を取り除く。

利用料金については施設の混雑状況によって価格を変動させるダイナミック・プライシングを導入しており、時間帯によっては割安に施設利用が可能となる。「GYYM」を通じて友人や同僚、家族との気軽な共同利用を促進することで、より多くの方が気軽に運動に取り組む環境作りを目指していく。

「GYYM」に加盟するジム・スタジオの施設運営者にとっては、本サービスを通じて都度利用の付加収益の獲得、新規会員獲得機会の向上が期待できる。今後は三菱地所グループ内でのシナジー実現のため、テナントサービスの一環としての導入や、グループの商業・ホテル施設との連携も検討し、より多くの人々に利用いただけるジムプラットフォームとなることを目指していく。

本事業は、三菱地所の新規事業提案制度にて提案・採択され実現に至ったもの。同制度では、過去3年間で70件超の提案があり、そのうち本事業を含む4件が事業化している。

（2020.1.27 日本経済）

部活動に専門コーチ 教員の負担減と技能向上を両立

教員の負担を減らすため、部活動の指導に専門的な技能を持つ外部指導者を登用するケースが増えてきた。2017年に教師に代わって部活動の指導や引率ができる「部活動指導員」が制度化されたことがきっかけだ。

千葉県は19年度から制度を本格導入した。県が費用を一部助成する形で教員OBや地元スポーツクラブのコーチらを指導員に招き、19年度は県内の中学校に49人を配置。学校現場からは「指導に関わる心理的負担が軽減された」と好評で、20年度以降も実施規模を広げたい考えだ。国も制度拡充に向けて支援を広げる。文部科学省は19年度予算に中学校で同制度を活用するため10億円を計上した。指導員数を前年比2倍の9,000人、配置校数も約3,000校に増やす目標を掲げる。

（2020.1.24 日本経済）

動脈硬化リスクをジム・薬局で計測、サラヤ、国循と装置開発へ、スマホ通じ助言

洗剤メーカーのサラヤ（大阪市）は国立循環器病研究センター（国循）と共同で、動脈硬化のリスクを遠隔からチェックし対応を助言する仕組みづくりに乗り出す。血管の健康度を手軽に測れる装置を開発し、フィットネスジムや薬局に導入する。スマートフォンアプリを介して利用者からデータを受け取り、個々人にコメントを送る。今秋に試作版を完成させ、2023年の実用化を目指す。

（2020.1.25 日本経済）

カーブスHD、初のスピンオフ上場 東証が承認

東京証券取引所は27日、フィットネス事業を展開するカーブスホールディングスの新規上場を承認したと発表した。子会社と本体を資本関係のない独立した会社にする「スピンオフ」という制度が2017年に整備されて以来、国内初の適用例となる。

カーブスHDは3月2日付で東証に上場する見通し。公募株式は241万5,000株。現時点の想定発行価格は1株720円。発行価格は2月20日に正式に決める。

（2020.1.27 日本経済）

ルネサンス、営業利益7%増、運動需要で会員増加

スポーツクラブ大手、ルネサンスの2019年4～12月期の連結営業利益は前年同期比7%増の30億円弱だったもよう。3年ぶりに過去最高を更新した。前期に4つのスポーツクラブを開設した効果で会員数が増えた。会費の値上げも浸透し客単価も上昇した。売上高は微増の346億円程度だったとみられる。運動需要の高まりから、総合スポーツ施設や、フィットネスに特化したリハビリ施設「元気ジム」で会員数が増えた。水泳教室などのスクール事業は需要の高まりから値上げに成功した。20年3月期の通期の業績見通しは据え置くとみられる。売上高は過去最高となる前期比1%増の467億円、営業利益は10%増の41億円を見込んでいる。

（2020.1.29 日本経済）